

令和4年度修了式 式辞

令和4年度もいよいよ本日までとなりました。

ただいま、1年生138名 2年生134名の修了証書をお渡ししました。あらためて修了、進級おめでとうございます。

さて、この1年間を振り返って皆さんはどんな思いをもっているのでしょうか。コロナはだんだん収束に向かってきましたが、やはり今年度も感染予防に注意しながら行事等を何とか行うことができました。これからは、マスクの着用については基本的には外し、感染リスクの高い状況では自分の判断でマスクを着用するようになります。もちろん今は花粉の時期でもありますので、引き続き、自分の体は自分で守る気持ちをしっかりとって生活してください。

先日の卒業式では、2年生は体育館、1年生はオンライン配信での参加でしたが、新型コロナウイルスで制約された中でもいろいろ工夫して、できることをしっかり行い、清水中生としての新しい伝統を築いてくれた3年生の立派な姿を見ることができました。また、入・退場、証書授与ではマスクを取った素顔を見ることもできました。3年生がいらない1週間は、少し寂しい感じもありましたが、4月には新入生を迎え入れ、1、2年生の皆さんは新2、3年生となって、まさに清水中学校の「顔」として生活していくことになります。「一人はみんなのため、みんなは一人のため」の気持ちを大切に、新しい伝統を維持・継承してください。

ところで、人と人が同じ場所で生活する学校や一般社会では、それぞれの考えや人権を尊重して生きていかなければなりません。もし、自分と違うから、自分から見たら正しくないと思うから相手をからかったり、傷つけたり、無視したりする行為は、もっとも恥ずべき行為であると考えます。また、自分のことばかり考えて、相手の事を考えない、あるいは相手の思想や事情をねじ曲げて解釈し、自分に都合のいい理由をつけて攻撃するというのは、いじめも戦争も質は同じかもしれません。自分の至らなさを自覚して、相手、相手の考えを尊重できる人になれるように心がけてください。

私は、校長になって学校に勤務した清水中学校の2年間を含む6年間、加えて30年前に清水中学校で生徒指導主事として2年間、毎朝学校の前に立ち、生徒の皆さん、先生方を迎え入れていました。そのときはいつも、生徒の皆さんと先生方が無事登校、通勤してくれてくれることが本当にありがたいと思い、感謝の気持ちをずっと持ち続けていました。しかし、どの学校でも、残念ながらお休みしてしまう、学校に来られない、教室に入れない人がいましたが、それぞれ本人が努力をしていること、またその人を支えてくれている周りの人々がいることにもありがたいと思ってきました。

これからも清水中学校に所属する生徒も先生も毎日、気持ちよく学校に来ることができるよう願っています。

来る令和5年度も清水中学校の全員が幸せに生活できるよう、一人ひとりが心がけてまいりましょう。

以上で 令和4年度修了式の校長式辞といたします。

令和5年3月23日

福島市立清水中学校長 福地 淳一